

# 世界に誇るニッポンのメガネ Made in Japan 特集

会期：2018年10月22日[月]～24日[水] 10:00～18:00 会場：東京ビッグサイト 東ホール  
(最終日のみ17:00終了)

主催：リード エグジビション ジャパン(株) / (一社)福井県眼鏡協会

今や視力矯正目的に限らず、お洒落なファッションアイテムとして確固たる地位を築いたメガネ。そんな中、特に注目を集めるのが「Made in Japan(日本製)」の製品です。日本の職人による、丁寧な加工で作られたメガネはよりいっそうコーディネートをお洒落にしてくれること間違いありません。また、「水引細工」「漆塗り」「蒔絵」など日本の伝統技術を生かした日本らしいメガネも出展いたします。

そこで今回は、日本が世界に誇る「職人技」が生み出す、こだわりのメガネブランドを幾つかご紹介。下記製品全て、10月22日[月]～24日[水]の3日間、東京ビッグサイトで開催される「第31回 国際メガネ展 IOFT2018」にて直接ご覧いただけます。こだわり溢れるMade in Japanのメガネをぜひ、取材にお越しください！

## 出展製品(一部抜粋) ※出展社・出展製品検索サイトより

※掲載の情報は出展社・出展製品検索サイト、出展の出展製品は変更になる可能性もございます。予めご了承ください。



### 鯖江の眼鏡と金沢の水引細工の融合

OTO×JIYUKAJIN / OJ-004 / (有) gran:d

「OTO」のデザインの根底に流れるジャパニスタイルが「自遊花人」の和モダンと共鳴して伝統を大切に守りながらも、枠にとらわれないスタイルは唯一無二のアイウェアを生み出しました。テンプルサイドにあしらわれた連続あわじと呼ばれる水引の定番編み模様が美しいこちらは、横顔に上品な艶感を出してくれます。



### 蒔絵師による手書きの芸術作品です！

和Yawaragi / 孔雀 / (株) ハーテック

日本(和)の技法を取り入れた商品を！というコンセプトで、鼈甲がベースとなるハーテックのブランド。「孔雀」をテーマに純プラチナを使用した高蒔絵(たかまきえ)や螺鈿(らでん)細工で描かれた羽根は、輪島の蒔絵師による作品で、手作りのK14wg製パーツと組み合わせることでより今までにない高級感を味わっていただけます。

取材のお申込みはこちら <https://www.ioft.jp/shuzai/>



### 越前漆器の新塗りとメガネの合作

glassick / jordan c2 / (有)ウチダプラスチック(クラシック)  
ダイナミズムを感じさせるコンビフレームと1500年の歴史を誇るユニバーサルエージェント株式会社による越前漆器の匠の技との融合。「伝統をモードに」をテーマにした抗菌機能も付加した「香化溜-KAKERU-」ブランドの意欲的なシリーズです。



### 異素材ミックス「バンブー×セルロイド」

Drastic Crazy / G-9X C-03 / CRSジャパン  
「0778」鯖江市の市外局番をコンセプトに掲げ、鯖江製に徹底した超個性派ブランド。「手間」をも愛する職人達の技術を「惜しげもなくトッピングした極上のフレームを産み出し続けています。職人芸を結合させた、コンビネーションモデルの最高峰は、厚みたっぷり、その存在感はまさにクレイジー！



### 匠の技を活かした究極のセル

MAXIS / MXU-209 / (株) エクセル眼鏡  
「軽快にスーツを着こなすように、男の柄・こだわりの柄を着こなしてほしい。」そんなコンセプトのもと、レンズの歪みを無くす為に開発したフローティング構造フレーム。平面な日本人の顔を立体的に演出し、フレームとの一体感を追求しました。



### 世界で最も優れた「かけごごち」を追求する ドウアン

dun ドウアン / DUN-LC-012 / (株) 三光光学  
ドウアンラグジュアリーコレクションから毎年恒例となったコンポジットカーボンを使ったモデルを発表。新作の DUN-LC-012 (日本メガネ大賞メンズ部門受賞) はボリュームがありながらも軽快な掛け心地、ステータスを感じて頂けるワンランク上のアイウェア。セミグロスブラックが妙に男心をくすぐる一品です。

**その他にも高額・超希少なメガネなど、  
会場には アイウェア 78,000点が出展！  
一年に一度のこの機会にぜひ、取材にお越しください。**

※製品数は、2018年7月13日時点での共同出展社を含めた最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性があります。

**取材のお申込みはこちら <https://www.ioft.jp/shuzai/>**

※本展の取材は事前登録が必要です。

※取材のお申込は、「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。

※事前のご登録が無い場合や、またご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合、また報道活動が認められないと主催者が判断した場合(個人ブログ・SNS等、極めて限定的な発信を含む)は当日プレス受付をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。